

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/6	概論 微生物学	1. 微生物学の意義と歴史について説明できる。 2. 微生物の種類と特徴について説明できる。	A P2~19に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)-① 総(VI)-6-B
2	9/13	細菌総論	細菌の増殖と代謝について説明できる。	A P35~47に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	石川恵里子	D -3-1)-① 総(VI)-6-B
3	9/27		細菌の形態と構造について説明できる。	A P24~34に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	石川恵里子	D -3-1)-① 総(VI)-6-B
4	10/4		1. 細菌の分類と同定法について説明できる。 2. 細菌の遺伝について説明できる。	A P22~24, 48~71に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	石川恵里子	D -3-1)-① 総(VI)-6-B
5	10/18	菌法 化学療法と消毒・滅菌	化学療法の特徴および化学療法薬の種類と作用機序について説明できる。	A P397~421に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-③④ D -5-2)-① 必15-Za ~ i
6	10/25		滅菌法および消毒薬の特徴について説明できる。	A P388~396に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-①③④ 必4-C- b 必15-H-a, b
7	11/1	試験評価	講義1回から6回の内容について説明できる。	中間試験を実施する。	微生物学分野 教室員全員	D -3-1)-①③④ 総(VI)-6-B
8	11/8	病原細菌各論	化膿性炎の病態とその原因菌の性状について説明できる。	A P98~112に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
9	11/15		腸内細菌の種類と性状および腸管感染症について説明できる。	A P113~128に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
10	11/22		毒素性炎を惹起する細菌の種類とそれぞれの毒素の特徴について説明できる。	A P129~153に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
11	11/29	特殊な細菌および細菌以外の微生物各論	肉芽腫性炎を惹起する細菌の性状について説明できる。	A P153~176に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F 各II(1)-1-AB
12	12/6		特殊な細菌、真菌と原虫の性状について説明できる。	A P177~183, 221~231に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)-①② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F 各II(1)-3-AG
13	12/13	ウイルス感染症 (DNAウイルス、RNAウイルス) について説明できる。	ウイルスの性状について説明できる。	A P184~197に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)-① 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
14	12/20		ウイルス感染症 (DNAウイルス、RNAウイルス) について説明できる。	A P197~220に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)-② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F 各II(1)-3-V, AD, AE, AF
15	12/22	合学習 ふり返り総	微生物学の重要事項を系統的に説明できる。	配布資料およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	